

Liberal Arts Letter for Freshmen



ハイライト:

- 大学生の学びと教養教育科目
- 海外留学体験記
- グローバル・フロンティア・リーダー(GFL)育成コースのスタート
- 将来を意識する君たちの未来は明るい!

大学生の学びと教養教育科目

群馬大学では、今年度から、教養教育科目の科目区分を大きく変更しました。

今回の改定の基本には、各学部・学科・専攻の責任で、4年間（医学科は6年間）の一貫した教育プログラムを提供すべきであるという理念があります。日本の大学は、第二次世界大戦後に、旧制の高等学校と旧制の大学を引き継ぐ形で発足したため、大学教育を、旧制高校の教育を引き継ぐ教養教育と、旧制大学の教育を引き継ぐ専門教育に二分して考える傾向があります。しかし、入学時点で、卒業予定の学部・学科・専攻が細かく決まっている日本では、この二分法は、もはや過去のものとするべきでしょう。

このような理念に基づき、今回の改定では、教養教育科目を、大学生としての基本的な考え方やスキルを身に付けるための「教養基盤科目」、大学生に必要な教養を身に付けてもらう一助とする「教養育成科目」、専門教育への導入科目である「専門基礎科目」に再編しました。

「教養基盤科目」は、自律的学習の初心者である新生に、卒業後までを見据えて、これまでとは違う大学での学びの本質を理解してもらう科目です。また、英語、情報、スポーツ・健康は、大学生に必須のスキルを学ぶ科目です。他大学では、これらの科目を「初年次教育科目」

と呼ぶこともありますが、群馬大学の教養教育では、1年生のことを初年次、2年生以上のことを高年次と呼んできたこともあり、「初年次教育」という言葉はあえて使いませんでした。

「教養育成科目」は、旧来の教養の概念に対応した科目です。多様な学問的視点を理解することで、幅広い視野を持って社会で活躍することが可能になると考えられています。また、以前と違い、グローバルな市民社会の構成員としての教養を、大学でも身に付けることが求められており、これへの対応も含まれています。もとより、「教養育成科目」だけで、学問的・市民的教養を身に付けることは不可能で、「教養育成科目」履修後も、一人一人の努力が求められています。

理工学部と医学部で開講されている「専門基礎科目」は、歴史的経緯から、今でも教養教育科目に位置づけられていますが、本質的には、専門教育と考えてよい科目です。

今回の改定は、スタートしたばかりであり、個々の授業題目では、趣旨が不徹底であったり、授業の進め方が稚拙なものが残っているかもしれません。10数年に一度の大改訂でしたので、みなさんからも建設的な意見を寄せていただき、よりよい教養教育科目にしていければと考えています。



大学教育・学生支援機構
副機構長(兼)教育基盤センター副センター長
吉田 亨

目次

大学生の学びと教養教育科目	1
海外留学体験記	2
グローバル・フロンティア・リーダー(GFL)育成コースが本格スタート	2
GFLToppリーダー講演会の開催案内	3
将来を意識する君たちの未来は明るい!	3
日本語検定結果	4
学生と学長との懇談会を開催	4
TOEIC-IP, TOEFL-ITP試験	4

海外留学体験記

2013年2月20日～3月25日 サンディエゴ州立大学（米国）英語研修プログラムに参加した山口さんに体験記を寄稿いただきました。

家には留学生4人、ホストマザー、犬1匹。ホストマザーは多忙だったが、毎日私達の為に美味しい食事を作ってくれた。時間のあるときは一緒に料理をしたり家事手伝いをすることでコミュニケーションがとれ、英語の勉強にもなった。外出の制限は特になく、様々な体験を下さいと言ってきていた。ただし他人と暮らすのだからマナーを守って生活する必要がある。帰りが遅くなるときや夕食がいらぬときに前もって伝えておくのはもちろん、節水・節電は日本以上に気にする必要があった。どこでも日本のような環境ではない事を実感させられた。

別れの日、ホストマザーは私が渡したメッセージカードを、涙しながら読んでくれた。英語が分からず苦勞もしたが、最後には絆が生まれかけがえのない出会いとなった。

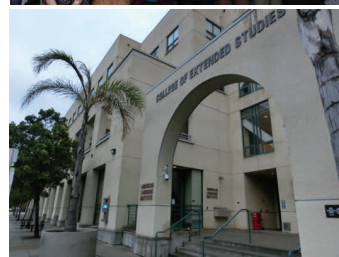
家から学校まで徒歩20分。とにかく大きな学校で、24時間開放の図書館、学生専用ジムなど驚くことばかりだった。実に多様な国から学生が来ており、歩くだけで多くの言語が聞こえてくる。みんなで話すときは英語なので、英語の必要性が自然と分かってくる。

授業は主に、英語によるコミュニケー

ションを目的としていた。月～木曜日は9:30～15:30。金曜日だけは10:00～12:00の希望制の授業であった。ただし、折角の留学なのだから授業には積極的に参加するのが一番である。私のクラスはほとんど宿題がなく、当日プリントを配って授業をする形式だったので、予習もできなかった。ホストファミリーが忙しくない家であれば家族と話すことで勉強になるが、それができる環境とは限らない。足りないと思う人は参考書等を持っていく必要がある。電子辞書は理解を深めるために必須であった。

サンディエゴはビーチ、動物園、シーワールドなど観光地が多い。皆、放課後や土日を利用して出かけていた。できればホストファミリーや現地できた友達と行くと、より英語の勉強になると感じた。また、そんなに大きな所に行かなくても、ファストフード店で注文するだけで文化の違いを感じられて貴重な体験になった。

百聞は一見にしかず。英語にしても文化の違いに対してもこの言葉の意味をより感じられた1か月であった。例えば、外を歩くだけで日本との違いを感じられる。違っていることと同時に類似点もみえてくる。サンディエゴで過ごした時間は今後大学生活を送る上で大変刺激になった。この体験をこれかに生かしていければと思う。



工学部
応用化学・生物化学科(2年)
山口 由梨

平成25年度群馬大学学生海外派遣支援事業(海外派遣奨励金支給対象事業)

◆派遣交換留学プログラム

- ・フィレンツェ大学(イタリア)
- ・台北教育大学(台湾)
- ・東海大学(台湾)
- ・嶺南大学校(韓国)
- ・建国大学校(韓国)
- ・マッコーリー大学(オーストラリア)

◆英語研修プログラム

- ・ウーロンゴン大学(オーストラリア)
- ・サンディエゴ州立大学(米国)

◆その他語学研修プログラム

- ・建国大学校(韓国) 韓国語
- ・東海大学(台湾) 中国語

ほかにも、専門分野学習プログラム等がありますので、興味のある方は、国際交流課にお問い合わせください。

グローバル・フロンティア・リーダー(GFL)育成コースが本格スタート

本学では、国際社会において活躍する独創的なトップリーダーを育成するため、グローバル・フロンティア・リーダー(GFL)育成コースを本年度新たに設置し、7月に医学部及び理工学部の1年生を対象に募集したところ、38名の応募があり、21名が合格となり、理工GFLが本格スタートしました。

8月中旬に、国立赤城青少年交流の家において「初回ガイダンス」を実施し、9月中旬には、海外の研究者を招聘しGFL学生がガイド役を務め日光を案内する「グローバル交流セミナー」を行い、

9月下旬には、日本人学生と留学生が2泊3日の合同合宿を行う「インターナショナルキャンプ」にもGFL学生が7名参加しました。

今後のプログラムとして、先端研究紹介講座、トップリーダーによる講演会、外国人教員による英語による講義、インテンシブイングリッシュ(海外留学準備講座)などにより、日本語能力・国際理解を含む幅広い教養・外国語コミュニケーション能力の習得を中心とした教育を行うとともに、海外留学を経験することにより幅広い視野



海外研究者をGFL学生がガイド役を務め日光を案内

を身に付けさせる予定です。

各プログラムの定員に余裕がある場合、GFLコースに在籍していない学生も原則として受講料なしで、参加することができる場合がありますので、

興味がありましたら、学務部教務課までお問い合わせください。

GFLトップリーダー講演会の開催案内

GFL学生を対象とした講演会が下記内容にて開催されます。一般学生も参加できますので、ぜひご参加ください。

詳細が決定次第、学生掲示板にてお知らせいたします。

トップリーダー講演会（予定）

- ① 10月30日（水） 16:00～
上毛新聞社相談役 高橋康三氏
- ② 11月6日（水） 16:00～
前橋商工会議所会頭 曾我孝之氏



将来を意識する君たちの未来は明るい！



大学教育・学生支援機構
学生支援センター
就業力育成支援室長
松元 宏行

皆さんが群馬大学に入学されて、はや半年がたちましたが、大学での授業や生活に戸惑いながらも学生生活を謳歌されていることと思います。皆さんは大学生になられて自分のキャリアを一步進めたとと言えますね。ここで、自分の将来像についてさらに考えてみませんか。「こんな職業に就きたい」「こんな分野に進みたい」「こんな研究をやりたい」「海外で自分を試したい」、いろいろな夢が湧いてくるとと思います。その夢を現実にしようではありませんか。それには「このようになりたい」という夢をもつことが重要であるとともに、「このようにしなければならない」という、それをめざす強い意思と実力も身につけねばなりません。「就業力育成」とはまさにこのような力を養うものなのです。では「就業力」とはどのようなものなのでしょう。私は学生諸君が修めた学びや経験を活かして、様々に変化する社会に適応していく時に役立つ力ではないかと思います。就職力や就活力と混同されがちですが、実際の授業で、大学で学ぶ科目が将来にどのように活かされるか、社会人として持つべき教養や社会に対する広い視野、社会制度や国際感覚、健康や自己管理の問題を学んだのは履修者の皆さんには既知の通りです。

社会は大学に幅広い知識を持つ教

養ある社会人養成を求めています。それに呼応するように大学設置基準が改正され、大学の教育課程内外を通じた「社会的・職業的自立に向けた指導等」が制度化されました。つまり大学の役割に「社会的・職業的自立につながる就業力をもった学生を育成する」ということが加わったことを意味します。群馬大学では今後も学生諸君の将来の展望を見据えた就業力育成を推進します。

最後にフランスの有名な細菌学者、ルイ・パスツールの名言をいくつか紹介します。いずれも将来を見据えた目標と準備に言及したものです。みなさんにも参考になるでしょう。

『偉大な人々は目標を持ち、そうでない人々は願望を持つ。』
目的を持つことと、それに向かって努力することの重要性を言っていますね。

『幸運の女神は、準備をした者のところにしか訪れない。』
いろんな場所でよく言われていることですが、人の幸運はけっして偶然ではなく、努力と準備を怠らなかった人のもとに訪れる必然であることを言ったものです。

『私が目標を達成できた秘訣、それはね、絶対にあきらめないことだよ。』

「あきらめないこと」の重要性を説いたものです。



1年生から始めるキャリアデザイン
についての各種情報もあります
キャリアサポートセンター
(荒牧キャンパス)

日本語検定結果

日本語を母語として育った学生にとって、母語として無意識に使っている日本語。ふだん意識しない日本語を意識するきっかけとして、新入学生全員に日本語検定3級を受験してもらいました。3級は高等学校卒業程度のレベルです。全体結果は横の円グラフをご覧ください。

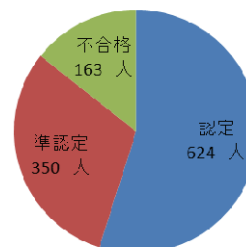
検定を、自らの日本語を見つめなおすきっかけとし、日本語学習を継続してくれることを期待します。

試験日：平成25年5月2日(木)

認定・準認定：

6つの領域（敬語、文法、語彙、言葉の意味、表記、漢字）でバランスよく得点することが必要です。総合点と6領域が全て基準を満たした場合「認定」となります。また、一つの領域でも、得点率が一定の基準に満たない場合は「準認定」となります。

平成25年 日本語検定結果



学生と学長との懇談会を開催

7月9日(火)に新入生を対象とした「学生と学長との懇談会」を開催しました。

「群馬大学・学」を履修している学生をはじめ興味のある学生83名が参加しました。大学側からは高田学長を始め石川理事（教育・国際交流担当）、教育基盤センターの吉田副センター長、各部長の教員や事務局の部課長が出席しました。

冒頭、高田学長の挨拶では、自身の研究分野や学生時代のことを思い出し

つつ、学生たちに将来の自分像をイメージして群馬大学で有意義に学んでほしいと語りました。

その後、学生からの教育内容・方法、学生支援、大学の設備・施設の改善・充実等に関する要望に対する意見交換を行いました。学生からの意見等は関係部局で検討し、改善していくこととしています。なお、学生からの要望等と大学からの回答は学生掲示板でご覧いただけます。



高田学長が自身の学生時代のことを話している様子

TOEIC-IP, TOEFL-ITP試験

本学は、グローバル化時代の多様なニーズに応えるため、幅広い国際的視野を備え社会で活躍できる人材を育成することを理念として掲げており、その基礎として英語力の強化を図っています。

そのため、平成25年度入学生全員を対象として、英語能力を自ら確認するため「TOEIC-IP」と「TOEFL-ITP」の試験を平成26年1月中旬以降に実施する予定です。

各学部ごとに利用する試験が異なり

ますので、ご注意ください。

詳細は、12月上旬に学生掲示板でご案内いたします。

受験対策としてALC NetAcademy2の活用を推奨します。

大学から発行されているアカウントとパスワードを用いて、次のURLからシステムへログインしてください。

URL：<https://english.hess.gunma-u.ac.jp/anet2/>

<学部ごとの試験内容>

教育学部：TOEFL-ITP
社会情報学部：TOEIC-IP
医学部：TOEFL-ITP
理工学部：TOEIC-IP

ALC NetAcademy2のQRコードはこちら→



大学教育・学生支援機構

発行元 学務部教務課

〒371-8510

前橋市荒牧町4-2

電話：027(220)7128

FAX：027(220)7620

Webサイトもご覧ください。

http://www.gunma-u.ac.jp/html/campus/for_student_0_1.html

